

2014年クリスマス直前、BMW、 NHTSAの指示でタカタ・エアバッグ リコール対象拡大

December 22, 2014 - 3:32 pm ET

BMWは、クリスマス直前、さらに、タカタ・エアバッグ搭載車140,000台のリコールを米国のNHTSA（The National Highway Traffic Safety Administration）の指示のもと、実施すると発表。

BMWは、現在、2004年1月から2006年8月に生産された3シリーズをリコール。該当事故を起こしていないとしている。しかし、NHTSAと協力してさらに、2004-2006年に生産された3シリーズの特定モデルのドライバーシートのフロントエアバッグを交換すると発表。

BMW米国スポークスマン Dave Buchko氏を通し、The Detroit News紙にも、同様に、NHTSAの指示に基づいて、リコール対象車を拡大していると言及。

BMWは、すでに今年7月に世界中で1,600,000万台を回収し、運転席以外の座席のフロントエアバッグを交換している。この際の対象車は、1999年5月から、2006年8月に生産された3シリーズであった。そのうち450,000台がドイツ国内で現在走行中の車。

今回の問題でのBMWを含む、ホンダ、マツダ、フォード等の総リコール対象台数は、全世界で24,000,000台にまでのぼり、そのうち17,000,000台が、米国内で販売されている。

BMW以外の今回のエアバッグ問題を発表しているカーメーカーとタカタ・エアバッグの該当モデル（カッコ内）：
Honda Motor Co (7267.T)
Mazda Motor Corp (7261.T)
Ford Motor Co (F.N)
FCA US LLC/先週まで Chrysler Group LLC Automobiles NV,
(FCHA.MI) (FCAU.N)

最初のリコールは、ドライバーシートのサイドエアバッグだけであったが、フロリダ、プエルトリコからのレポートも鑑み、リコール対象範囲が拡大されている。

BMWは、BMW以外のカーメーカーで搭載している、タカタのエアバッグを直接搭載していないと発表しているが、すでに5件の死亡事故がおきていることを慎重に受け止め、NHTSAとともに、リコールアクション拡大方針をとっている。

(小澤エネルギー研究所
Setsuko Schwarzer)

(参考資料)

<http://www.reuters.com/article/2014/12/22/us-autos-takata-bmw-idUSKBNOK01WO20141222>

<http://www.wiwo.de/unternehmen/auto/pannen-der-autobauer-die-groessten-rueckrufaktionen/5923498.html>

Wirtschaftswoche 23.12.2014

<http://www.autonews.com/article/20141222/OEM11/141229978/bmw-expands-nhtsa-ordered-takata-airbag-recall>